

学習指導案

岩手県立大船渡東高等学校 3 学年 機械科 (男 40 女 0 計 40 人)、  
29 年 11 月 15 日(水) 2 校時(1 時間)、場所 HR、指導者名 藤沼 俊介

1. 題材 または 単元	第 2 章 自動車の原理 第 3 節動力の伝達
--------------------	-------------------------

2. 目標	自動車の動力伝達装置を理解し、自動車の潤滑・冷却に活用されるオイルの廃棄方法について考え、自動車工学を通して工業における倫理観を養う。
-------	---

3. 基盤	<p>①教材観 自動車の動力伝達のしくみや駆動装置を学ぶ中で、廃油処理の方法を考え、工業における倫理観を養うことができる。</p> <p>②生徒観 学習意欲の差が非常に大きいクラスであるが、内容の社会的価値観を理解することでしっかりと話を聞き課題解決に取り組む姿勢がある。</p> <p>③指導観 自動車の機構や原理について指導した上で、安全性と環境への配慮における工業人としての倫理を協議・検討させ、具体的倫理観を共に考える。</p>
-------	--

4. 指導と 評価の 計画	小題材 ・内容	時間	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	第 2 章 3 節 動力の伝達					
1) 動力伝達 の仕組み	1	1	・装置名と役割の説明をプリントにまとめる			・口頭質問にて確認
2) クラッチ	1	1	・装置名と役割の説明をプリントにまとめる			・口頭質問にて確認
3) 変速装置	1	1	・装置名と役割の説明をプリントにまとめる			・口頭質問にて確認
4) プロペラ シャフト	1	1	・装置名と役割の説明をプリントにまとめる			・口頭質問にて確認
5) 終減速装置・他	1	1	・装置名と役割の説明をプリントにまとめる			・口頭質問にて確認
【本時】協 議まとめ	1	1		・他者の意見を聞き、 自らの考えを述べる ・協議結果を発表	・各授業内容をプリントにまとめている。 【プリント提出】	

※評価計画は、本時が含まれている小題材(この場合は 2.) についてのみ示してもよい。  
※評価規準に【 】のように評価の方法を付け加えるとわかりやすい。

5. 本時			
(1) 目 標 自動車の動力伝達を理解し廃油処理の方法について考える。			
(2) 展開			
学習内容・学習活動	時間	指導上の留意点と支援 ・評価【観点】と方法	資料、教材・教具
・過去の学習内容を復習する。 ・本時の目標を説明する。	導入 5分	・駆動装置を再確認する。 プリント【知識・理解】 ・目標と倫理観の確認・説明 プリント【知識・理解】	板書・プリント  プリント
・使用される油種を説明する。 ・廃棄方法について安全面と環境への影響を考える。	展開 40分	・駆動装置に使われる油種について説明する。 プリント【関心・意欲・態度】 ・安全面と環境への影響について個人の考えをまとめる。 プリント【技能】 ・グループワークにて協議する。 発言【思考・判断・表現】 ・全体に各グループの協議結果を発表する。 発言【思考・判断・表現】	教科書・プリント  教科書・プリント  教科書・プリント  教科書・プリント
・本時の授業を踏まえて個人の考えをまとめる。	終末 5分	・発表内容を踏まえ、個人の考えをまとめる。 プリント【技能】	プリント
(3) 評価 授業へ向かう姿勢、机間巡視による取り組み状況の把握、発言などによる学ぶ姿勢、等を確認し、回収した補助教材の取り組み状況を考慮して観点別に評価する。			
本時の評価規準	【関心・意欲・態度】：学ぶ姿勢で説明を聞いている 【思考・判断・表現】：他者の意見を聞き、自らの意見を表現している 【技能】：自らの考えをまとめ、記録する 【知識・理解】：復習内容・説明内容を理解している		
十分満足できると判断される生徒の姿	常に学ぶ姿勢を持ち、過去の授業内容を理解している。他社の意見を踏まえ、自らの考えを伝えることができる。		
支援が必要とされる生徒への支援方法	机間巡視中につまずいている内容についてアドバイスをする。		
その他：			